

『3110 原価計算論』

対象：短期大学部

■テキスト

2025. 3. 01 訂正

P. 83 下から 5 行目 下記のとおり修正ください

当月の実際製造原価

直接材料費 324,000 円
直接労務費 ~~2,040,400~~^{2,528,400} 円
製造間接費 6,000,950 円

P. 84 2 行目 下記のとおり修正ください

直接材料費の原価差異 = 351,000 - 324,000 = +27,000
直接労務費の原価差異 = ~~1,952,000~~^{2,440,000 - 2,528,400} - ~~2,040,400~~ = △88,400
製造間接費の原価差異 = 6,100,000 - 6,000,950 = +99,050

2023. 12. 01

訂正

P. 81 【資料】 下記のとおり修正ください

【資料】

標準原価カードは次のとおりである。

直接材料費	$\frac{\text{標準単価}}{90 \text{ 円/kg}}$	×	$\frac{\text{標準消費量}}{15\text{kg}}$	=	1,350 円
直接労務費	$\frac{\text{標準賃率}}{200 \text{ 円/時間}}$	×	$\frac{\text{標準直接作業時間}}{40 \text{ 時間}}$	=	8,000 円
			50	=	10,000
製造間接費	$\frac{\text{標準配賦率}}{500 \text{ 円/時間}}$	×	$\frac{\text{標準直接作業時間}}{50 \text{ 時間}}$	=	25,000 円
製品 1 個あたりの標準製造原価				=	<u>34,350 円</u>
					36,350

P. 81 【解答】

(誤) まずは完成品原価について計算します。標準原価カードから、製品 1 個あたりの標準製造原価が 34,350 円とわかっているなので、これに完成品数量をかけます。

(正) まずは完成品原価について計算します。標準原価カードから、製品 1 個あたりの標準製造原価が 36,350 円とわかっているなので、これに完成品数量をかけます。

P. 82 下記のとおり修正ください

$$\begin{aligned} \text{完成品原価} &= \cancel{34,350} \times 240 = \cancel{8,244,000} \text{ 円} \\ & \quad 36,350 \quad 8,724,000 \end{aligned}$$

なお内訳は以下のように計算されます。

$$\text{直接材料費} = 1,350 \times 240 = 324,000 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{直接労務費} &= \cancel{8,000} \times 240 = \cancel{1,920,000} \text{ 円} \\ & \quad 10,000 \times 240 = 2,400,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\text{製造間接費} = 25,000 \times 240 = 6,000,000 \text{ 円}$$

次に、月末仕掛品原価について考えます。標準原価カードおよび生産データから、次のように求めることができます。ただし、加工費については完成品換算数量を使用する点に注意してください。

$$\text{直接材料費} = 1,350 \times 80 = 108,000 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{直接労務費} &= \cancel{8,000} \times 80 \times 0.5 = \cancel{320,000} \text{ 円} \\ & \quad 10,000 \times 80 \times 0.5 = 400,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\text{製造間接費} = 25,000 \times 80 \times 0.5 = 1,000,000 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{月末仕掛品原価} &= 108,000 + \cancel{320,000} + 1,000,000 = \cancel{1,428,000} \text{ 円} \\ & \quad 400,000 \quad 1,508,000 \end{aligned}$$

月初仕掛品原価は、先月末時点での月末仕掛品原価です。したがって、月初仕掛品の原価についても、標準原価で計算されます。

$$\text{直接材料費} = 1,350 \times 60 = 81,000 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{直接労務費} &= \cancel{8,000} \times 60 \times 0.6 = \cancel{288,000} \text{ 円} \\ & \quad 10,000 \times 60 \times 0.6 = 360,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\text{製造間接費} = 25,000 \times 60 \times 0.6 = 900,000 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{月初仕掛品原価} &= 81,000 + \cancel{288,000} + 900,000 = \cancel{1,269,000} \text{ 円} \\ & \quad 360,000 \quad 1,341,000 \end{aligned}$$

また、当月の標準製造原価については、インプット側とアウトプット側の差し引きで計算することができます。

P. 83 以下のとおり修正ください

$$\begin{aligned} \text{当月製造原価} &= \cancel{8,244,000} + \cancel{1,428,000} - \cancel{1,269,000} - \cancel{8,403,000} \\ &= 8,724,000 + 1,508,000 - 1,341,000 = 8,891,000\text{円} \end{aligned}$$

その内訳は以下のとおりです。

$$\text{直接材料費} = 324,000 + 108,000 - 81,000 = 351,000\text{円}$$

$$\begin{aligned} \text{直接労務費} &= \cancel{1,920,000} + \cancel{320,000} - \cancel{288,000} - \cancel{1,952,000}\text{円} \\ &= 2,400,000 + 400,000 - 360,000 = 2,440,000\text{円} \end{aligned}$$

$$\text{製造間接費} = 6,000,000 + 1,000,000 - 900,000 = 6,100,000\text{円}$$

P. 89 【資料】 下記のとおり修正ください

【資料】

(1) 標準原価カード

直接材料費	<u>標準単価</u> 70円/kg	×	<u>標準消費量</u> 25kg
直接労務費	<u>標準賃率</u> 130円/時間	×	<u>標準直接作業時間</u> 35 時間 40
製造間接費	<u>標準配賦率</u> 450円/時間	×	<u>標準直接作業時間</u> 40時間

(2) 当月の生産データは次のとおりである。

当月の生産データ

月初仕掛品 70個

当月投入 ~~200~~個
310

完成品 320個

月末仕掛品 60個

なお、材料はすべて工程の始点で投入されている。また、月初仕掛品の加工進捗度は50%、月末仕掛品の加工進捗度は60%である。

【解答】

完成品原価

$$\text{製品1個あたりの標準原価} = 70 \times 25 + 130 \times \cancel{35} + 450 \times 40 = \cancel{24,300}\text{円}$$

$$\begin{aligned} \text{完成品原価} &= \cancel{24,300} \times 320 - \cancel{7,776,000}\text{円} \\ &= 24,950 \times 320 = 7,984,000\text{円} \end{aligned}$$

P. 90 下記のとおり修正ください

月末仕掛品原価

直接材料費 = $70 \times 25 \times 60 = 105,000$ 円

直接労務費 = $130 \times 35 \times 60 \times 0.6 = 163,800$ 円
40 187,200

製造間接費 = $450 \times 40 \times 60 \times 0.6 = 648,000$ 円

月末仕掛品原価 = ~~916,800~~ 円
940,200

P. 90 【資料】 当月の生産データ

(誤) 完成品 230 個

(正) 完成品 140 個

P. 91 【資料】 当月の生産データ

(誤) 完成品 230 個

(正) 完成品 140 個

P. 91

(誤) 実際直接労務費の総額 1,847,340 円

実際直接作業時間 9,330 時間

(正) 実際直接労務費の総額 1,148,400 円

実際直接作業時間 5,800 時間

P. 91 【解答】

(誤) 賃率差異 = $(200 - 198) \times 9,330 = +18,660$ 円

実際賃率 : $1,847,340 \div 9,330 = 198$ 円 / 時間

時間差異 = $200 \times (40 \times 228 - 9,330) = \Delta 42,000$ 円

(正) 賃率差異 = $(200 - 198) \times 5,800 = 11,600$ 円

実際賃率 : $1,148,400 \div 5,800 = 198$ 円 / 時間

時間差異 = $200 \times (40 \times 138 - 5,800) = \Delta 56,000$ 円

2023. 05. 01

訂正

P. 75 【資料】生産データ

(誤) 月初仕掛品 50 個

(正) 月初仕掛品 40 個

P. 75 【資料】

(誤) ※材料はすべて工程の始点で投入されている。月初仕掛品の加工進捗度は 60%であり、月末仕掛品の加工進捗度は 40%である。

(正) ※材料はすべて工程の始点で投入されている。月初仕掛品の加工進捗度は 75%であり、月末仕掛品の加工進捗度は 40%である。

P. 76

(誤) 当月投入分の完成品換算数量= $280 \text{ 個} - 50 \text{ 個} \times 60\% + 80 \text{ 個} \times 40\%$
=282 個

(正) 当月投入分の完成品換算数量= $280 \text{ 個} - 40 \text{ 個} \times 75\% + 80 \text{ 個} \times 40\%$
=282 個